

10月31日のウクライナ情報

安齋育郎

①ジョージアの選挙結果(2024年10月27日)

ジョージアは今日、NATO とソロスが同国に巨額の資金を注ぎ込んでいるにもかかわらず、EU に「ノー」を言い、親ロシア派のジョージア・ドリーム党に投票した。

この打撃は、モルドバに続いて 1 週間で 2 度目だ。

ジョージア・ドリームの事務局長カハ・カラゼ氏は、中央選挙管理委員会の予備データ発表後、議会選挙で同党が勝利したと発表した。(⑦に関連情報)



https://x.com/Megatron_ron/status/1850268838799282631

②ワシントン・ポスト紙のリサ経済評(2024年10月27日)

ワシントン・ポスト紙:ロシア経済は西側の制裁で崩壊するどころか「懸命に働いている」。

経済は巨額の軍事費によって推進されており、ロシア連邦全体の給与は軍事収入の増加に伴って増加していて、民間部門も増加してる。ロシアも引き続き石油販売から多額の収入を得ている。したがって、2024 年上半期のロシアの実質賃金は前年同期比 12.9%増加した。最も貧しい労働者の収入は 67% と最も急速に増加した。

同紙は、「巨額の石油収入と西側制裁、特に G7 の原油価格上限の失敗のおかげで、ロシアにはあと数年間はウクライナ紛争に資金を提供する余裕があると経済学者らは言う」と書いている。

Russian economy overheating, but still powering the war in Ukraine

Putin's massive spending on the war is causing high interest rates and high inflation, but he has the resources to keep doing it.

By Robyn Dixon



Russia is seeing nearly full employment and skyrocketing wages from massive wartime

<https://x.com/Mari21Sofi/status/1850515391849877824?s=09>

③ウクライナはロシアとの戦争を終わらせるために領土を放棄すべきだ - 米副大統領候補 J.D.バンス氏(2024年10月27日)

- 「ウクライナ人はこの決断を下さなければならない。彼らはすでに疲れ切っている」とバンス氏は News Nation で語った。
 - アイデアは、ウクライナ政府高官との会話、特にプライベートな会話の隙間からすでに抜け落ちている。
- 彼らは今、それについて話し始めている。こんなことをいつまでも続けるわけにはいかないと言っている。人手も武器も資金もないのです」とバンスは付け加えた。
- 副大統領は、アメリカの役割はロシアとウクライナが「真の外交」を行うために何が必要かを問うことだと述べた。

<https://x.com/i/status/1850211628903702787>



<https://x.com/Z58633894/status/1850211628903702787?s=09>

④マリア・リボワ・ベロワ大統領全権代表(子どもの権利担当)の話(2024年10月28日)

<https://x.com/i/status/1850516523678564745>



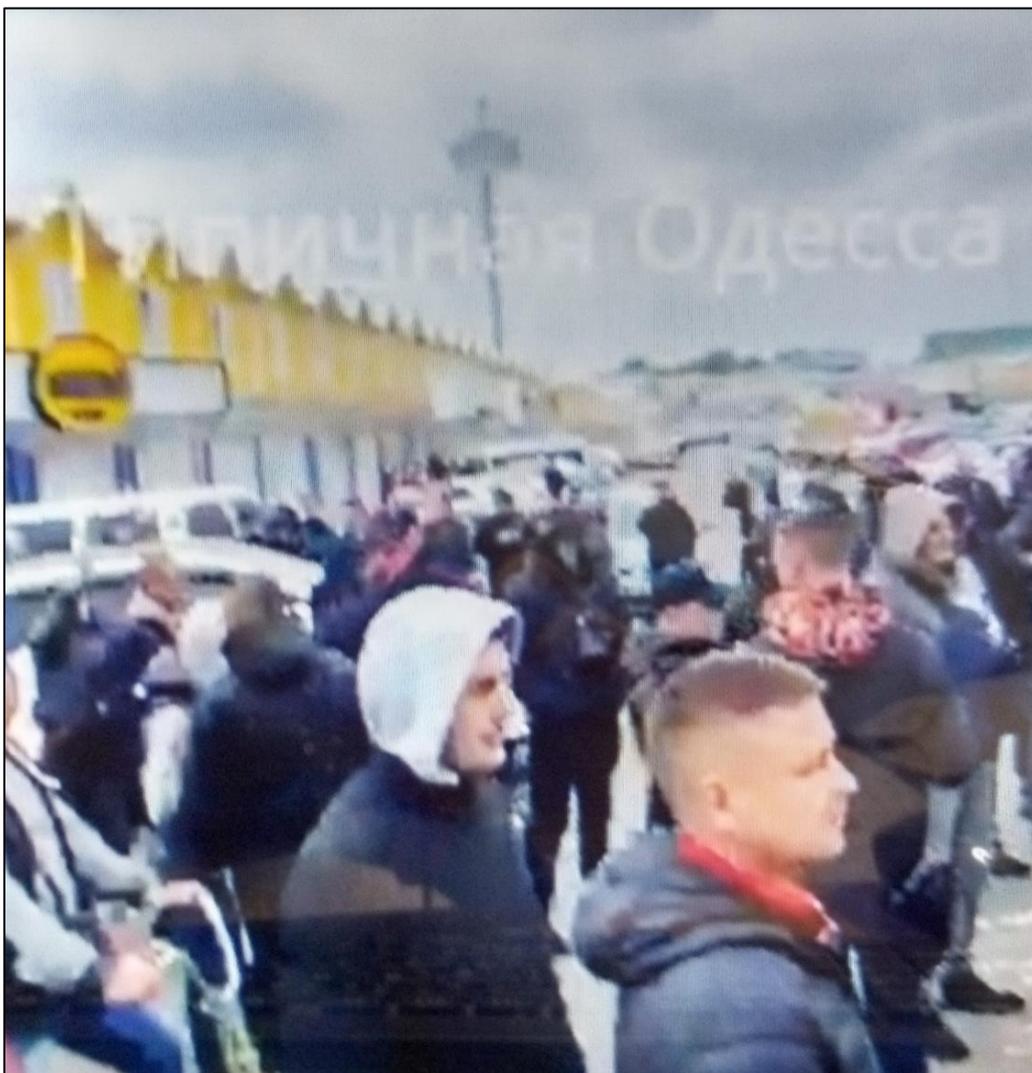
<https://x.com/4mYeeFHHa6H1OnF/status/1850516523678564745?s=09>

⑤オデッサ市民の抗い(2024年10月26日)

誘拐された男たちを取り戻そうと、TCC(動員庁)ギャングや警察官に対する暴動が始まっている。オデッサ市民は、2014年5月2日(下記注参照)を決して忘れていないし、これからも忘れない。ロシア帝国が作った街で、ロシア文化がたくさんある。

エカテリーナ銅像、プーシキン、その他の撤去は、市民の心がより一層ウクナチ追放に向けて燃え上がるだけ。

<https://x.com/i/status/1850158931915735497>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1850158931915735497?s=09>

※安齋注:5月2日(オデッサの悲劇)=ポロシェンコ政権下の2014年5月2日、「オデッサの悲劇」として知られる事件が起こっていることが明らかにされています。アンヌ・ロール・ボンネ監督の映画『ドンバス』でも、元ウクライナ軍兵士だった人物が、「アメリカ主導のユーロ・マイダン運動後に樹立された親米政権がウクライナ語を公用語とし、ロシア語を禁止したことで、ロシア系住民が抗議デモを行なった。事件当日、過激な民族主義者が広場で女性や子どもを含むロシア系のデモ参加者を捕まえたほか、抗議者が集まったビルに放火して多くの人を焼死させたり、転落死させたりした。それなのに、ウクライナ当局は過激派に対してなんら責任追及をしなかった」と証言したことが紹介されています。

オデッサの悲劇（2014年5月2日）



オデッサで、親欧米派のデモ隊と、ロシア系住民とのあいだの衝突が起きた。石や火炎瓶が投げられて少なくとも4人が死亡した上、親ロシア派住民が立てこもった労働組合の建物が放火され、46人が死亡、200人以上が負傷した。

⑥ウクライナ軍兵士、「食肉処理場」に送られた経緯を語る(2024年10月27日)

「コーヒーを飲んでいたら、連行されたんだ、ああおかしい、家に帰してもらえなかった、ああははは明日死ぬかもしれない、なんてこった……。」

楽しさのあまり震えながら話す、昨日までコンビニでコーヒー飲んでた兵士…

3日前の動画なので今日はもう生きてないかもしれない

<https://x.com/i/status/1850211166699880682>

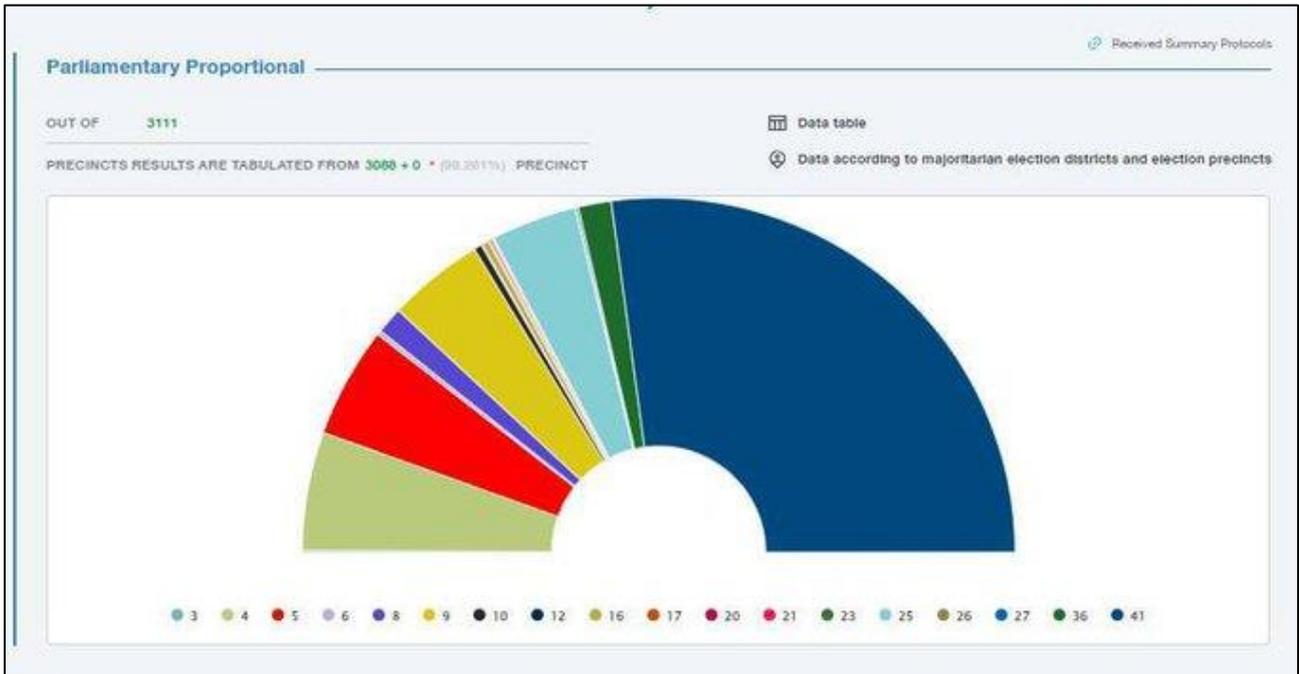


<https://x.com/Mari21Sofi/status/1850211166699880682>

⑦ジョージア(グルジア)議会選挙 99.3%開票時点(2024年10月27日)

- ・「ジョージアの夢」54.23%
- ・「変化のための連合」10.8%
- ・「統一国民運動」10.1%
- ・「強いジョージア」8.75%
- ・「ジョージアのために」7.75%

(ジョージアの夢以外はすべて欧州寄り。)



<https://x.com/GyotokuShogi/status/1850459632537596169?s=09>

〈関連情報〉

選挙に敗北した野党を率いてカラー革命を起こそうとしているジョージア大統領サロメ・ズラビシビリ

みな驚くと思うけど、彼女の前職はジョージア駐在フランス大使。フランス外交官が大統領になり、ジョージアの主権を侵害し、EUに接近してロシアと戦争するよう仕向けてきた。

<https://x.com/i/status/1850449124086436030>



<https://x.com/trappedsoldier/status/1850449124086436030?s=09>

⑧ウクライナの元国会議員ボンダレンコさん(2024年10月27日)

「捕虜交換に誰と誰を交換してますか？ウクライナ人が他のウクライナ人と交換される。

彼ら(UA政府)が私たちに語る、戦っているブリヤート人はどこにいますか？ロシア人将校はどこにいますか？

私たちの国では、ウクライナ人とウクライナ人の交換が行われています。それで、誰が誰と戦っているのですか？

2014年5月26日、ドネツクはウクライナの爆撃機によって空から攻撃された。

6月2日、ルガンスクが攻撃された。その後、カンドラショフカ、シチャスチャ、スタニツァ・ルガンスカヤへの無意味な砲撃があった。

これをなんと呼ぶ？これは自国民に対して軍隊を使うことです。そして、これらは答えられなければならない戦争犯罪です。

ゼレンスキー政権下では誰もこの件について責任を負わない。これは、この政府がこの内戦の共犯者であり、継続者であることを示唆している

これは奇妙な介入ではありません。それは彼らにも利益をもたらします。

ゼレンスキーは何をしたのか？ たった一度のやりとりで、見返りもなくミンスク協定の監査について話している。

他に効果的な代替案を提供する人は誰もいません。

なぜなら...それは誤診だから。侵略者である国が存在し、我々はロシアと戦っている、という事実だけをいつも話しているようでは、効果的な治療を提供することはできないからだ。なぜなら、それは嘘だからだ。

それは最も自然な強盗だ。

キエフと東部国境沿いで外国が介入し、東部で内戦が起きていることを素直に認めるまでは、この問題の解決策は見つからないだろう。そして、戦争は最後のウクライナ人まで続くだろう。」

<https://x.com/i/status/1850439853877727579>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1850439853877727579?s=09>

⑨露国防省 長距離攻撃への応答をすでに研究＝プーチン大統領(2024年10月27日)

長距離兵器を自力で使用する能力はウクライナにはない。これができるのは NATO 諸国の専門家のみ。露国防省はロシア領に対して長距離兵器が使用された場合の応答をすでに練っている。プーチン大統領は TV「ロシア1」局のパーヴェル・ザルービンからの取材にこう答えた。

「これに対して我々はしかるべき対応をする。どのように対応し、具体的にはいつ、どこでになるかについては、現段階で語るのは時期尚早だ」

プーチン大統領はこう発言しながらも、ロシアの深部に攻撃した場合の結果について、自分の発する警告に西側が耳を傾けるよう期待を表していた。

プーチン大統領は 9 月の時点で、NATO のアジェンダはウクライナに対するロシアへの攻撃許可ではなく、軍事紛争に NATO の直接参加の決定の承認だと明言し、「紛争の本質が変化した場合、ロシアは生み出される脅威に基づいてしかるべき決定を下す」と警告していた。



<https://sputniknews.jp/20241027/19252536.html>

⑩BRICS は「アジアの世紀」到来を後押しできる＝タイ外相(2024年10月27日)

BRICS はアジア太平洋地域の世界的な経済成長を刺激する能力を強化し、さらに拡大していく上で重要な役割を果たすことができる。ロシア・カザンで行われた BRICS サミットの傍ら、タイのサンギアポンサ外相がスプートニクに対しこのように語った。

「BRICS は、開発途上国の利益を世界レベルで促進する主要な政治プラットフォームだ。BRICS は、開発途上国のニーズにより応じられるようにすることで、多国間主義を強化することができる。我々の地域では、経済成長、貿易と投資の円滑化、食糧及びエネルギーの安全保障を目指している」

サンギアポンサ氏によると、世界は今、アジア太平洋地域が世界経済の成長の原動力となる「アジアの世紀」という新たな時代を迎えつつあるという。

「BRICS は、アジア太平洋の新興経済圏とアフリカ、ラテンアメリカを結ぶグループとして、アジア太平洋地域の世界的な経済成長を刺激する能力を強化し、さらに拡大していく上で重要な役割を果たすことができると確信している」

サンギアポンサ外相は、BRICS への加盟申請により、タイは共通の課題に取り組むために必要な協力関係を促進するさまざまな国の架け橋となることを目指していると指摘した。

タイは 2024 年 6 月に BRICS への正式加盟を申請した。今回の BRICS サミットでは、インドネ

シア、マレーシア、ベトナムとともに BRICS パートナー国となったと報告されている。



https://sputniknews.jp/20241027/brics-19251534.html?rcmd_alg=collaboration2